



# 8月の歳時記

# 夏

8月の季語 : 残暑/晩夏/秋暑/新涼/立秋

・残暑の候・晩夏の季節・夏の盛りも過ぎ など

## 8月の別名

萩月（はぎづき）秋風月（あきかぜづき）月見月（つきみづき）木染月（こぞめづき）  
雁来月（かりきづき）草津月（くさつづき）燕去月（つばめさりづき）

## 立秋の前日までに出す 暑中見舞い

暑中とは、二十四節気の中の「大暑」にあたる期間のことで、7月20日ごろから8月8日ごろの立秋の前日までをさします。  
なので、暑中見舞いもこの間に先方に着くように出します。その期間が過ぎたら「残暑見舞い」として出すのが正式です。



## 先祖の霊を迎えて供養 お盆

本来お盆は7月15日を中心として行われる先祖供養の仏教行事ですが、ここ最近では月遅れの8月15日に行われるところも増えているようです。

お盆は、仏教の「盂蘭盆会（うらぼんえ）」を略したもので、語源は梵語の「ウランバナ」で、地獄の責め苦から救うという意味があります。  
餓鬼道に堕ちて苦しんでいる弟子の母を、お釈迦様供養して救うことができたという故事が始まりとされています。

盆迎えの朝は盆棚を作り、季節の野菜や果物、水、白玉団子、そうめんなどを供え、ご先祖の乗り物になる、きゅうりやナスに割り箸で足をつけて牛や馬の形にした物を並べます。



8月の花 : 朝顔、向日葵(ひまわり)、銭葵(ぜにあおい)等